

三層戸の蓮 (撮影者 西松 薫)

法要・行事予定

7月		
11日	従如上人御祥月御命日	(8時)
12日	闍如上人御逮夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
25日	宣如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御逮夜 兼 定例法話 小松 裕子師	(13時30分) (第15組泉勝寺)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話 輪番 武宮 信勝	(8時)



8月		
5日	同朋の会	(14時)
6~7日	暁天講座	(両日ともに6時)
12日	合祀墓追弔会 闍如上人御逮夜・常永代経 墓前申経	(9時) (14時) (9時から17時まで)
13日	闍如上人御命日 兼日中 証如上人御祥月御命日 盂蘭盆会 澤田 見師	(8時) (8時) (13時30分) (第12組清澤寺)
21日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
27日	宗祖聖人御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話 輪番 武宮 信勝	(8時)

※ 諸行事につきましては、感染状況をみて判断致します。

暁天講座 案内

天満別院では、左記の通り暁天講座を開講致します。

日時 8月6日(金)、7日(土)
 両日ともに6時〜おつとめ
 6時30分〜
 7時30分頃まで法話

講師 天満別院輪番 武宮信勝

講題 「愚者になりて往生す」

場所 天満別院 同朋会館 講堂

※聴講は無料です。尚、講座終了後には軽食を用意しております。

(ご提供 太田石材店様)

今月の伝道掲示板

本当にやりたい事を
 やりとげる
 あきらめない
 心を
 赤崎 勇

編集後記

世界中ではワクチンの接種が進んでいますが、ワクチンの開発は動物実験により多くの動物の命が犠牲になっていきます。日々の何気なく使う日用品にも動物実験は行われています。動物の犠牲の上に安全、安心に暮らすことができているのだと改めて実感しています。ワクチン接種の際には感謝の念を持って接種したいと思えます。

課題山積みの中、開催ありきで東京五輪が近づいてきている。危惧される新型コロナ感染のまん延化が更に深まらないことを唯々念ずるばかりです。ワクチン接種も拡大しつつあるが先進国の水準には、まだまだほど遠い。第一回の接種率が高い英国で1日1万人超のインド型(デルタ株)感染者が報じられた。油断は禁物だということが実証された感を強く抱きました。まもなく第103回全国高校野球選手権大阪大会が始まる。その矢先「青春ストライク」が朝日新聞に公表された。その中で目を引いたのは大教大池田でした。(左参照)



「報恩謝徳」大会に臨むスローガンは「先生方や保護者の方々に今までの恩を返せるように一勝したい」と記されている。現代の高校球児が「報恩謝徳」という言葉を使わされたことに正直驚きました。

私たち真宗門徒にとって大切にしている仏事は、言うまでもなく「報恩講」であります。その精神は「報恩謝徳」であります。如来大悲の恩徳は、身を粉にしても報ずべし、師主知識の恩徳も、骨を砕きても謝すべし」と宗祖親鸞聖人は仰せになっておられます。阿弥陀仏の恩に報い、その恩に報いて生きぬいた先輩諸氏の仰せに謝する。謝とは感謝の謝、謝罪の謝の意味から「ありがとう・かたじけない・ごめんなさい」になります。日常生活に埋没している我々は、なかなか「報恩謝徳」の心は起きてはきません。なぜならば自分を是とし他を非とする「我愛の本性」を拭い去ることができないからでありましょう。都合のいい時は有頂天になり、不都合の時は相手を悪者とし「許せん」とまくし立てて責める。他ならぬ私自身の業の姿であります。

【次ページに続きます】

報告

夏の御文法要 勤修

第2組 光照寺住職
墨林 浩師



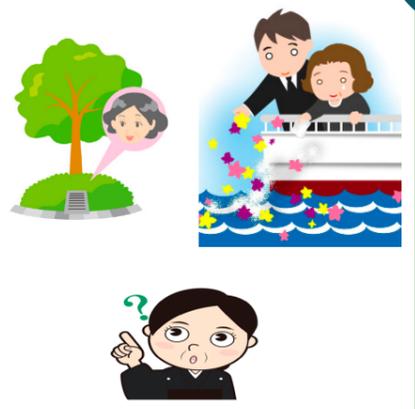
墨林 浩 師

去る6月24日(木)猛暑の中、夏の御文法要が勤まりました。今年夏の御文の三・四巻を拝読致しました。その後、「一念発起 平生業成の宗旨」についてお話いただきました。

師からは「人間が生まれてくるということとは尊いことだが、厄介なこと、人間のありさまにまかせて世をすくすべきこと肝要なりと、みなみなこころうべし。このおもむきを心中におもいれて、一念に弥陀をたのむころを、ふかくおこすべきものなり。あなかしこあなかしこ」(『御文』

Q&A

樹木葬でそのまま埋骨や海洋散骨などの広告を見ますが、どう思いますか？



答え

超高齢化社会の時代となり、終活と称して葬儀や供養のビジネス化・合理化が急速に進み、テレビやインターネットの広告でも頻繁に見かけようになりました。遺骨を埋葬するようにシンプルとなる木を植え墓標とする「樹木葬」、遺骨を粉末にして海や山に撒く「散骨」、さらにはカプセルに入れて打ち上げ、宇宙空間に散骨する「宇宙葬」など、納骨も非常に多様化して来ていることが分かります。これらは個性的で魅力的に見えるかもしれませんが、もしかしたら、しかし一方で、そ

告知

みのり中止

今月17日に予定されておりました合唱団「みのり」は社会情勢を鑑み、中止とさせていただきます。練習の再開については、当別院ホームページ、もしくは機関紙「六字城」にて掲載致しますので何卒よろしくお願い致します。

定例法話

定例法話は、多彩な講師陣がわかりやすく真宗のみ教えをお話ししてくれます。7月の定例法話は左記の通り開催されます。

日時 7月27日(火) 午後1時30分
場所 天満別院 本堂
御講師 第15組 泉勝寺 小松 裕子師
講題 「ハンセン病強制隔離政策に抗った医師」
―小笠原登の生き方に学ぶ―

四帖目十三通)その最後に「弥陀の名をききうることのあるならば南無阿弥陀仏とたのみなひと」と詠が添えられています。『阿弥陀仏をたのむ』と親鸞聖人が使われていたのは「憑む」であり、「頼む」ではありません。私たちも何気なく使っています。例えば、息子夫婦によりかかると言うのは「憑む」、宝くじの当選を願う時は「頼む」。「頼む」はあくまで依頼、願うことです。

ある掲示板で、「言葉で迷い、言葉で傷つき、同時に言葉で目覚める」という言葉がありました。言葉には力が宿っています。ただ人間は欲張りです。その言葉の意味を何一つ味わずに、その言葉がもってる背景、歴史を知ろうともしません。そこには必ずメッセージがあるのです。まさに我々が日暮をしている中に「一念発起 平生業成」、大きな本願の用きに目を瞑っているのです。いつもそうなのでしょう。それが私たちのありのままの姿なのでしょう。

又、先生は資料にもとづき「まどみちお」さんの詩をたくさん紹介されました。

久しぶりに沢山の方々が法座に着いていただき生きたお寺の復活の兆しを感じました。

別院門徒会定期総会

同日法要後、天満別院門徒会定期総会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

- 天満別院門徒会
- ・2020年度事業・会計報告
- ・会計監査報告
- ・2021年度事業計画(案)
- ・その他

全議案、全会一致で承認されました。



総会の様子

別院院議会

去る6月25日(金)、天満別院院議会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

- 2020年度
- ・経常部及事業部歳入歳出決算書
- ・本坊運営資金収支計算書
- ・災害見舞特別会計収支計算書
- ・墓地運営資金収支計算書
- ・退職給与積立金収支計算書
- ・整備事業積立金収支計算書
- ・有価証券勘定書収支計算書
- ・期末現金・預金・有価証券勘定書
- ・その他

全議案、全会一致で可決承認されました。その他、別院寺務所の雨漏りについて、防水工事の施工については、責任役員会に一任されました。本年十月中に工事に入る予定です。

